

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電気法規・施設管理						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	4年前期		
必修・選択の別	選択(組込みシステムコース)/選択必修(電気エネルギーコース)/選択(情報システムコース)						
担当者	原谷 直実						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気関係法規の種類とその必要性を説明できる。(A10) ・電気工作物技術基準を電気工作物に適用できる。(C6) ・自家用電気工作物の保守管理ができる。(C7) 						
日程と内容	第01回 : 04/09 導入講義 : 講義内容の概略と授業の進め方、成績評価法。電気関係法規の体系と必要性 (演習) 第02回 : 04/16 電気事業の種類、電気事業に関する法律の必要性 (演習) 第03回 : 04/23 電気事業と電気法規の変遷 (演習) 第04回 : 04/30 電気事業法 (演習) 第05回 : 05/07 電気工作物 (演習) 第06回 : 05/14 電気主任技術者と電気工事士の業務内容 (演習) 第07回 : 05/21 電気工作物の技術基準 (演習) 第08回 : 05/28 用語 (演習) 第09回 : 06/04 接地工事 (演習) 第10回 : 06/11 電力需給と電源開発 (演習) 第11回 : 06/18 電力系統の運用、周波数と電圧の調整法 (演習) 第12回 : 06/25 自家用電気設備の保守管理、保安規程と保守管理体制 (演習) 第13回 : 07/02 総合演習第1回 第14回 : 07/09 総合演習第2回 第15回 : 07/16 総合演習第3回 07/23 定期試験						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	20%					
授業到達目標の達成度	試験問題は、ごく限られた内容についてのみ解答させるものなので、通常の努力で合格できる程度のものである。不合格の学生2名は、努力が足りなかったのだと思う。						
反省点	昨年度の反省および次年度の計画で、実習を取り入れることを提案していたが、実現できなかった。						
来年度の計画	自家用電気工作物の保守・管理の観点からの実習を授業内容に含めることを引き続き検討したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	4年次生を対象に開講している授業科目であるので、受講生との信頼関係も保て、双方とも納得のいく授業であったと思われる。ただ、就職活動で欠席することが頻繁であった学生は、授業内容の継続性を維持するのに苦労したかもしれない。授業評価アンケートの結果もそれを裏付けていると思う。(2012年度8.3、2013年度8.4、2014年度8.5、2015年度9.0)						
履修登録者数	26名	定期試験 受験者数	23名	合格者数	21名	合格率	91%